

① 災害を知る

1-1. 内水とは？

市街地に降った雨は、下水道管きょや水路、道路側溝などを流れて河川に排水されています。しかし、大雨で下水道管きょや水路がいっぱいになってしまうと河川に排水できず、マンホールや雨水ますなどからあふれて浸水することがあります。



1-2. 内水の特徴

通常時

通常の降雨時は、宅地や道路に降った雨は雨水ますや下水道管きょを通して、河川へ排水されています。

排水ポンプ場の役割

市内の各所に配置される排水ポンプ場では、通常時から各家庭や工場などから排水された汚水をポンプでくみ上げ、浄化センターへと送っています。

また、大雨時には、下水道管きょで処理しきれない雨水を、河川に排水しています。ただし、大雨によって河川の水位が高くなると、堤防の決壊を防ぐため、やむを得ずポンプの運転を止めることもあるため、これにより内水氾濫の危険性が高まる場合もあります。

内水 (内水氾濫) の発生

氾濫型

短期的な大雨等により、下水道管きょ等の排水能力を超えることで、雨水が排水できず浸水が発生します。

湛水型

大雨により河川など排水先の水位が高くなることで、雨水が排水できず浸水が発生します。

内水浸水想定区域については、本ハザードマップをご確認ください。

洪水 (外水氾濫) の発生

洪水浸水想定区域については、甲府市洪水ハザードマップをご確認ください。

② 日頃から備える

2-1. 大雨のときにとるべき行動

避難行動

大雨時には**内水 (内水氾濫)**と洪水 (外水氾濫) の危険性が高まります。洪水ハザードマップ等も活用しながら水害に備え適切な避難行動について考えましょう。避難行動には、指定された避難所、親戚・知人宅や近隣の安全な場所などへ避難する「**立退き避難 (水平避難)**」と自宅の2階以上など、より高い場所へ退避する「**屋内安全確保 (垂直避難)**」があります。

立退き避難 (水平避難)

浸水想定区域外の親戚・知人宅など

指定された避難所や、浸水想定区域内でも高い建物のある親戚・知人宅など

河川の近くや浸水深が大きくなる地域など、そこにとどまることが危険な場合は、指定された避難所、親戚・知人宅や近隣の安全な場所などへ立退き避難をしましょう。立退き避難は災害が発生する前に行うことが原則です。

屋内安全確保 (垂直避難)

夜間や急激な降雨により、避難所までの経路にある危険箇所が分かりにくい場合や、浸水などにより歩くことが困難な場合など、屋外に出ることがかえって危険なときは、自宅の2階以上や近隣のより高い建物へ避難するなど最大限命を守る行動をとりましょう。

避難の心得

浸水が始まると、水深が浅くても移動することが困難になります。気象情報や河川の水位情報をもとに、身の危険を感じたら直ちに避難しましょう。

- お年寄りや子ども、病気の方、体の不自由な方などは、早めの避難が必要です。避難に支援が必要な方に協力しましょう。

- 避難は自主避難で！
- 市や消防団から避難の呼びかけがあったら、速やかに避難してください。

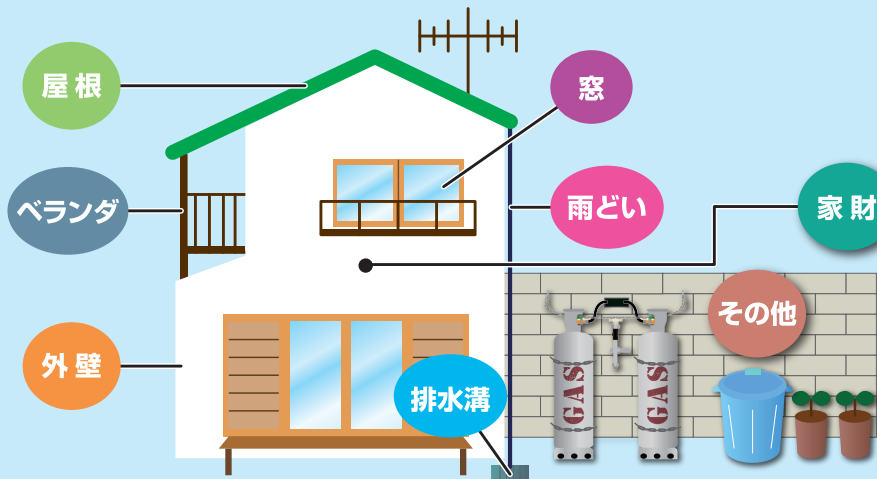
- やむを得ず水の中を移動するときは、長い棒などで足元の安全を確認しながら移動しましょう。

- ゆるやかな流れでも、ひざの高さになると大人でも歩くのが困難です。小さな河川や水の流れのある場所に近づかないようにしましょう。

- 大雨時、半地下道路 (アンダーパス) など、通行中の車両が水没する、足をとられて動けなくなるなどにより重大な事故が発生するおそれがあります。避難する際にはそのような場所を避けましょう。

2-2. 平時からの取組

① 家の周りを確認しましょう



屋根

□ アンテナ、トタン、瓦の緩みはないか。

ベランダ

□ 落下や飛散の危険のあるものはないか。

窓

□ 窓枠、雨戸のがたつきはないか。

雨どい

□ 継ぎ目はすれや塗装のはがれ、腐りはないか。

家財

□ 濡れて困るものは、あらかじめ高い場所へ移動しているか。

外壁

□ 壁に亀裂はないか。

排水溝

□ 排水溝にごみや土砂が詰まっているか。

その他

□ 庭木には添え木をしているか。
□ ブロック塀はくずれそうにないか。
□ プロパンガスのボンベは鎖でしっかり固定しているか。

② いざというときに家庭でできる浸水への対策を知っておきましょう

日頃から土のうなどを用意しておきましょう。
また、家庭にあるものを土のうや止水板のかわりに使用することで、浸水を軽減できます。

ごみ袋とダンボールによる簡易水のう

ごみ袋を二重にし、半分程度の水を入れる。ダンボール箱に入れ連結する。



ポリタンクとレジャーシートによる水のう

ポリタンクに水を入れ、レジャーシートで巻き込み連結する。



トイレや洗濯機などの排水口

水を入れたビニール袋を置き、排水口から逆流してくる泥水を防ぐ。



コラム 要配慮者利用施設における備え～避難確保計画の作成について～

浸水想定区域内及び土砂災害警戒区域内の要配慮者利用施設の管理者などは、避難確保計画の作成・訓練の実施および市への報告が義務付けられています。甲府市における対象施設は甲府市水防計画に掲載されています。

甲府市水防計画： <https://www.city.kofu.yamanashi.jp/bosaitaisaku/bosai/suibou.html>



③ 家族で防災会議を開きましょう

災害は突然襲ってきます。いつ災害が発生しても被害が最小限になるように、自宅の内外の危険箇所をチェックして、各自ですべきことや避難方法、連絡方法などを家族で話し合っておきましょう。

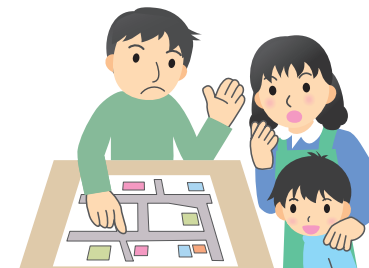
避難所や避難経路を確認する

- 災害時に避難する最寄りの避難所を確認しましょう。避難経路は複数決めておき、一度家族全員で歩いて、危険がないか移動しやすいかを確認し、ハザードマップに書き込んでおきましょう。
- 自宅最寄りの避難所だけでなく、職場やよく行く場所の最寄りの避難所も確認しておきましょう。



集合場所や合流方法を確認する

- 災害は仕事や学校、外出先など家族がバラバラにいるときに起きる可能性もあります。電話がつながりにくくなることも予想されるので、あらかじめ行動を確認しておきましょう。
- 保育園、幼稚園、学校における災害時の子どもの引き取りに関する取り決めを確認しておきましょう。



家族の連絡先を確認する

- 災害時に備え、家族の職場や学校、親戚などの連絡先を確認しておきましょう。
- 災害用伝言ダイヤル「171」や災害用伝言板など、緊急時の連絡方法を事前に確認しておきましょう。



側溝や雨水ますを点検する

- 自宅周辺の側溝や雨水ますに落ち葉などのごみが詰まっている場合は、掃除をして水通しをよくしておきましょう。



非常持ち出し品や備蓄品をチェックする

- 家族に必要なものが揃っているか、その保管場所がどこかを確認しましょう。
- 飲料水や非常食は定期的に取り換え、懐中電灯やラジオも定期的に動作するか確認しましょう。



家族で防災力を高める

- いざというときに落ちついて行動できるよう、地域の防災訓練などに参加し、日頃から心構えをしておきましょう。甲府市では、総合防災訓練を開催し、地域防災力の向上を図っています。

